

お兄ちゃんの彼女が僕の部屋に来てする事

あとり 秋尚

今日は土曜日…

仕事でお父さんもお母さんも
帰ってこない日です

今この家には
僕とお兄ちゃん
…そして

ガチャ

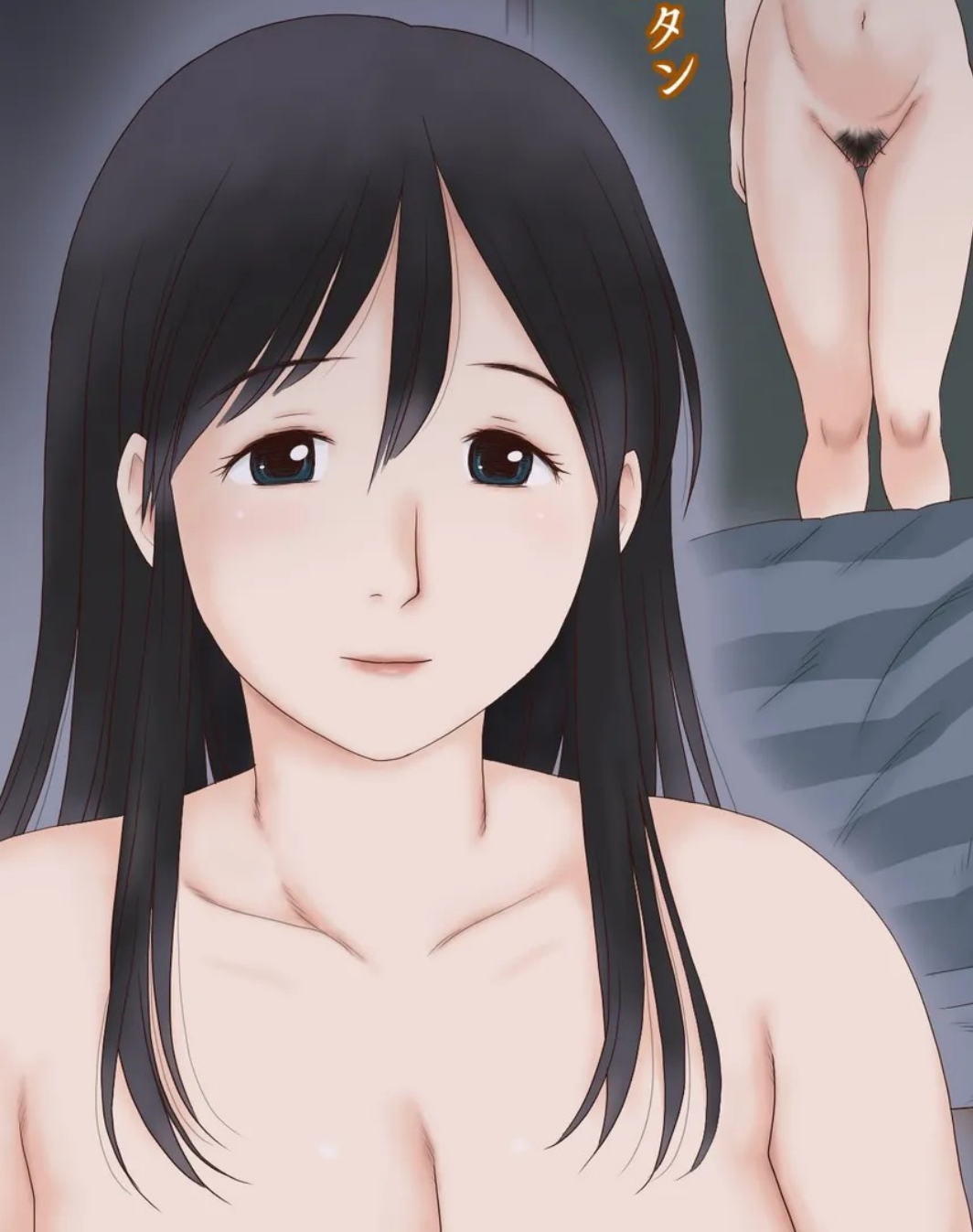


毎週土曜日…

お兄ちゃんの部屋にお泊りに来る
お兄ちゃんの彼女…

パタン

あゆみ
お姉ちゃん…



あゆみお姉ちゃんが
僕の部屋に
来るときは
いつも裸です

「寝てるの？
たかお君」

「……」

ちゅ……



「あゆみ…お姉ちゃん」

「起こしちゃった？
ごめんね
たかお君」

「いいのよ
そのまま寝てて」



そう言う
とあゆみお姉
ちゃんは
いつもの
ように
僕の布団
の中に入
ってきま
した

そして…
パジャマ
のズボン
とパンツ
を脱がす
んです

そして…

そして…





僕はあゆみお姉ちゃんが
どうしてそんな事をするのか
わかりませんでした

おちんちん
汚くないのかな

…でも
僕は…

あつ…あゆみ…
お姉ちゃん…

ちゅっ

僕はあゆみお姉ちゃんに
おちんちんをなめられると
とても変な感じになります

ちゅば

ちゅば

おしっこが
出ちやいそうな
感じになって…

あむ…

はう
ううゝ

…そして
おちんちんが
ビクンビクンって
なって

「あッ」

で出ちゃった

びゅっ

びゅっ

「ご…ごめんなさい
あゆみお姉ちゃん」

「うふっ
いいのよ
たかお君」

「くん…」

「精通
おめでとう
たかお君」

「せい…ふう？」

「来週はお祝いに
もっと気持ちのいいこと
してあげるわね」

「気持ちの…ふう」と



「じゃあね」

「おやすみなさい
たかお君」

「う…うん」

そう言うと
あゆみお姉ちゃんは
部屋を出ていきました





…もつと
気持ちのいいことって
なんだろう…

お兄ちゃんの声だ…

「おいあゆみ
どこ行ってたんだよ」

「目え覚ましたらいねえし
さみしかったんだぞ」

「うんちよつとね」

「ごめんごめん
じゃあもう一回してあげるから」

「だ…だったら今度は
えろつとえろつと…」

お兄ちゃんの彼女が僕の部屋に来てする事



そう…上手よ
そのまま中で
おちんちんをこすってみて…

大丈夫… 最初は
うまくできなくても…

ん…うん
上手よ たかお君

そう

…そうよ

んっ…

あせらなくてもいいのよ
も…もう少しゆっくり あっ

……………

…うふっ いいのよ
たかお君…そのまま…

…気持ち…よかった？

































あゆみお姉ちゃんが
僕の部屋に
来るときは
いつも裸です

「寝てるの？
たかお君」

ちゅ

SAMPLE

「あゆみ…お姉ちゃん」

「起こしちゃった？
ごめんね
たかお君」

「いいのよ
そのまま」

SAMPLE

そう言う
あゆみお姉ちゃんは
いつものように
僕の布団の中
入ってきました

そして…
パジャマのズボンと
パンツを脱がすんです

そして…

そして…

SAMPLE

あと秋尚

気持ち……
よかった？

おちんちん
汚くないのかな

お兄ちゃんの彼女が僕の部屋に来てする事



